

# 感謝祭が盛況。組合員や地域との触れ合い大切に。

ふれあい感謝祭  
千田

J Aでは、地域とのつながりを強化していくため、支店協同活動に取り組んでいます。



10月7日（土）、千田支店は、支店協同活動の一環として「ふれあい感謝祭」を開きました。会場の同支店には、昨年の来場者数を上回る約450人が訪れ、地場産農産物を買うなどして多彩な企画を楽しみました。イベントは、組合員や地域住民との交流を目的に毎年行っています。

会場では、同支店管内の女性部メンバーがネギやサトイモなど、地場産の秋野菜を販売しました。大洲正支店長は「組合員をはじめ、地域の子もたちから高齢者まで、多くの人から来場してもらえた。今後とも組合員や地域との触れ合いを大切にしていきたい」と話しました。



大洲支店長も参加。フラダンスを披露して感謝祭を盛り上げました。女性部メンバーが地場産の秋野菜を販売し、人気を集めました。



J A青年部と女性部が協力して餅をつき、来場者に振る舞いました。





ふれあい感謝祭  
南部

多くの来場者に感謝。  
組合員や地域と一緒に。

J Aでは、地域とのつながりを強化していくため、支店協同活動に取り組んでいます。



生産者がカリフラワーを販売し、人気を集めました。  
結成15周年の「真人遊舞会」が踊りを披露して会場を盛り上げました。



J A女性部が豚汁を振る舞いました。  
子どももバルーンアートを楽しみながら参加しました。

10月14日(土)、南部支店は、支店協同活動の一環として「ふれあい感謝祭」を開きました。今回で12回目。地元の町おこし団体「函山城狼煙乃会」が協力しました。会場の同支店には、今年も組合員や地域住民ら約450人が訪れ、多彩なステージイベントを見るなどして爽やかな秋のひとときを楽しみました。

会場では、同支店管内の生産者がカリフラワーを販売し、人気を集めました。結成15周年の「真人遊舞会」が踊りを披露して会場を盛り上げました。他にもバルーンアートなどに、子どもも楽しみながら参加していました。

川上清支店長は「多くの来場者に感謝している。今後も組合員や地域と一体となった活動を行っていきたい」と話しました。

売し、人気を集めました。J A女性部は、豚汁を振る舞いました。ステージでは、結成15周年を迎えた地元のよさこいグループ「真人遊舞会」が踊りを披露して感謝祭を盛り上げました。他にもバルーンアートなどに、子どもも楽しみながら参加していました。